

平成二十五年第五回人吉市議会定例会の初めに当たりまして、市政に対する所信を申し述べる機会を与えていただき、誠にありがとうございます。

国政におきましては、去る七月、第二十三回参議院議員通常選挙が行われ、与党自由民主党と公明党の議席獲得により、衆議院と参議院の多数が異なるいわゆる「ねじれ」状態が解消される結果となりました。選挙後の記者会見で安倍総理は、国民の第一の期待は経済対策であることから、秋の臨時国会で通常国会に続き、成長戦略を実現していく考えを示されております。私たち地方は、都市部のみならず全国で景気回復が実感できてこそ日本の経済再生ができるものと確信しているところであり、今後の国の成長戦略に期待を寄せているところでございます。

本市におきましては、本年七月、成長戦略室を設置しましたが、今般、安倍政権下の経済政策である「日本再興戦略」が推し進める国策プロジェクトのひとつである、準天頂衛星システムを活用する地理空間情報、通称G空間情報とICTを融合させた社会実証実験に、本市も積極的に取り組むことにいたしました。準天頂衛星システムとは、現在、アメリカ合衆国が打ち上げております世界全体をカバーできる「GPS」衛星の補完と補強を目的としまして、我が国が独自に開発を進めている測位衛星でございます。既に平成二十二年九月に技術実証のための準天頂衛星初号機「みちびき」が打ち上げられており、今後、平成二十九年から三十年までに衛星三基が追加で打ち上げられ、四基体制でシステムが運用されることが決定しております。また、ロシアや中国、欧州といった諸外国も独自の衛星測位システムの導入を国家プロジェクトとして、進めている状況でございます。

本市としましては、国が進める準天頂衛星といった測位衛星を介して高度な分析に基づく確かな位置情報などを入手し、行動できる地理空間情報高度活用社会の実現に向けた新たな成長分野に関わってまいりたい所存です。本市がこの社会実証実験に関わることで、中山間地域を抱える多くの地方自治体に共通する様々な行政課題に対し、測位衛星を利用した将来の行政情報システムの活用方法を検討することができ、また、地域の防災、減災機能の向上といった安全、安心なまちづくりへの活用を提案することができるものと存じます。

つきましては、社会実証事業の提案に先立ち、来る十月七日に坂本総務副大臣をお招きして、地理空間情報高度活用社会の実現を図るためのシンポジウムを、人吉市カルチャーパレスで開催する運びとなりました。このシンポジウムは、総務省九州総合通信局を始め経済産業省九州経済産業局など多くの関連機関からご後援を賜り開催するもので、地理空間情報の活用の第一歩となるものと存じます。シンポジウムでは、地理空間情報社会の取り巻く現状や将来像などについて講演とパネルディスカッションを計画していますが、今後は、このシンポジウムを通じ、熊本大学を中心とした大学研究機関と連携を図りながら、地域活性化や災害対策など地域が抱える主要な行政課題に対し、地理空間情報の活用を検討してまいりたいと存じます。

本市の成長戦略につきましては、今後も、国の成長戦略に合致する政策、施策に対して、様々な団体と産学官連携を図ることで、本市が抱える行政課題の解決、さらには雇用を生み出すための新規事業獲得や既存事業の新たな展開につなげるとともに、地域経済を活性

化させ、本市の未来を切り開く持続的な成長を目指してまいりたいと存じます。議員各位、さらには市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。次第でございます。

広報広聴関係でございますが、市長就任以来、毎年開催しております「ひとよし“かがやき”づくりトーク」につきまして、本年度も二十三町内十五箇所での開催を計画し、七月から実施しているところでございます。今回は、本市の財政状況やマニフェストの進捗状況のほか庁舎移転候補地選定などについてご説明を申し上げ、意見交換を行っております、参加していただいた市民の皆様には、市政に対する貴重なご意見をいただいているところでございます。この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

庁舎移転建設関係でございますが、本年六月に開催されました「市庁舎建設に関する特別委員会」におきまして、「九日町周辺の中心市街地一画」と「市役所別館地一帯」の二つの移転候補地について、執行部として一定の根拠を明示した選定具体案を提示させていただきました。今後は、市庁舎の建設位置や規模及び付帯する機能などに関し、市民の皆様の意見をより具体的に反映させるため、市民代表や学識経験者で構成する「人吉市庁舎等移転建設審議会」を設置しまして、庁舎の建設位置や規模及び付帯する機能などに関し、ご意見を伺いながら進めてまいりたいと存じます。

平成二十四年度から本市も参画しております「家族の時間づくりプロジェクト」でございますが、本年も学校関係者や保護者を始め各団体のご協力の下、市内の全小、中学校において、実施することになりました。期間は、おくんち祭りの神幸行列が行われる十月九日を学校休業日とし、この日と十月十二日から十四日までの計四日間としております。期間中は、人吉クラブトパーク親子工芸教室や人吉鉄道観光案内会のご協力によるSL人吉親子教室など、家族で一緒に過ごすことのできるイベントを計画しているところでございます。また、本年度は、厚生労働省の「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」に参画し、その実施機関である公益財団法人地方経済総合研究所と連携し、事業所への有給休暇取得の働きかけやポスター、チラシによる啓発活動などを行い、ワーク・ライフ・バランス、仕事と生活の調和の向上を図るとともに、家族の時間創出の環境づくりに努めてまいりたいと存じます。

防災関係でございますが、九月一日に計画しておりました人吉市総合防災訓練は、先週末から停滞する前線の影響により本市においても激しい雨が予測されたことから、災害発生などに備えるため、中止といたしました。本市におきましては、球磨川やその他河川の増水がございましたが、現在のところ幸いにして、人や家屋への被害は発生しておりません。しかしながら、今後も台風の接近や、前線の発達などによる大雨が考えられますので、防災行政無線で防災情報を発信するなど、引き続き万全の態勢で警戒にあたっております。市民の皆様におかれましても、大雨の際には気象情報などに十分ご留意をいただきますようお願い申し上げます。

交通安全関係でございますが、平成二十五年秋の全国交通安全運動が九月二十一日から三十日までの十日間実施されます。今回は、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とし、「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車運転中の交通事故防止」、「反射材等の着用の推進及び自転車のライトの点灯の徹底」、「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの

正しい着用の徹底」、「飲酒運転の根絶」に重点的に取り組んでまいります。

また、本年は、初日の九月二十一日に人吉市カルチャーパレスにおきまして、第二十七回交通安全県民大会が開催されます。近年の県下における交通事故は、発生件数、負傷者数ともに減少傾向にあります。死者数に占める高齢者の割合は半数を超え、飲酒運転や自転車の交通ルール違反が後を絶たないなど、依然として厳しい状況が続いています。本大会は、このような情勢を踏まえ、秋の交通安全運動における取組の基本となる「子どもと高齢者の交通事故防止」などについて、広く県民に啓発することを目的として開催されます。期間中は、街頭パトロールを中心に交通事故撲滅に努めてまいりたいと存じますので、関係機関並びに市民の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

高齢者福祉関係でございますが、今月は敬老月間でございます。長寿をお祝いするとともに、高齢者の皆様がますます健康で元気に過ごしていただくことを目的に、延寿荘などの老人ホーム施設でのあんま・マッサージの無料奉仕や、老人ホーム利用者の方々へのお祝い訪問、さらには老人福祉センターの無料開放、金婚ご夫婦の表彰式などを行うほか、各町内会におかれましても敬老会を開催されるようでございます。九月一日現在、本市には百歳以上の方が十八人おられ、さらに今年度中に百歳に到達される方が十四人いらっしゃいます。皆様方には心からお喜びを申し上げます。

本市の六十五歳以上の人口は、七月末日現在で一万八百三十二人、高齢化率は三十・九パーセント、一年前と比較いたしますと、二百十六人、〇・九六パーセントの増となっております。毎年高齢化が進んでいる状況でございます。今後とも、多くの高齢者の皆様が健康と安心を実感していただき、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていただくために、元氣・長生きセンターの機能を充実させるなど「笑顔があふれ、幸せいっぱい健康福祉都市ひとよし」を推し進めるべく、一層の努力をしてまいり所存でございます。

地産他商関係でございますが、平成二十三年度から二年間、東京都庁において「人吉球磨の味めぐり」を開催してきたところでございます。本年度は、これまでの成果と検証、また人吉ブランド化実行委員会の意見を踏まえ、同企画運営部会で協議をされた結果、来る九月十九日、二十日には、福岡県福岡市の「福岡市役所ふれあい広場」において、さらに十月二十六日、二十七日の二日間を大阪府豊中市の「せんちゅうパル」の二会場で開催することと決定されました。

今後、実行委員会を構成する関係団体を中心に準備を進め、地元農産物を始めとした物産品の販売や観光PRを通じて、福岡県、大阪府での本市の知名度アップに努め、今後の農産物などの販路拡大及び地域の活性化につなげてまいりたいと存じます。議員各位を始め市民の皆様におかれましても、福岡県、大阪府両地域のご友人や知人へご周知くださいますようお願い申し上げます。

去る七月三十日、「くまもと県南フードバレー推進協議会」の設立記念大会が、八代市において開催されました。本協議会は、熊本県のフードバレー構想の推進役となる組織であり、八代、水俣・芦北、人吉・球磨地域の農林水産業や商工業者、関係団体、熊本県及び関係市町村などの相互の情報共有や連携体制を構築するものでございます。特に、「食」に



でございます。

人吉球磨が一体となって推進をしております「ひとよし・くま旬夏秋冬キャンペーン」でございますが、本年も「カップパ搜索隊」という人吉球磨をフィールドとした夏休み企画を、女カップパの登場など新たな要素も加えながら一箇月半に及ぶモバイルラリーとして実施いたしました。内容としましては、携帯電話などを使ってカップパの目撃情報を届けた人にポイントを加算し、ポイントに応じプレゼントを行うというゲーム方式の事業でございます。熊本県や市町村、人吉球磨広域行政組合やくま川鉄道株式会社、球磨川ラフティング協会など、数多くの事業所が連携する形で展開したところでございます。新聞や雑誌、テレビなどのメディアにも本地域の夏のイベントとして紹介いただき、カップパ搜索に参加していただいた多くの皆様には、人吉球磨の夏、さらには大自然を満喫していただけたものと存じます。

去る八月十五日、五十九回を数える人吉花火大会を中川原公園及びふるさと歴史の広場をメインの観覧会場として開催いたしました。人吉市の夏の風物詩として、市民の皆様はもとより、帰省されている方々、市外からの多くのお客様に、球磨川の上空を彩る五千発の花火をご堪能いただいたことと存じます。また、今回で三回目となりました「夏目友人帳」を題材にしたポスターでございますが、前回に引き続き、作品に登場する人気キャラクターたちが、人吉城跡の石垣を背景に描かれている特別制作となっております。今回も描き下ろしで作成していただいたことから、インターネット上などでも大変な話題となり、全国から反響をいただいたところです。花火大会とアニメツリーズムの両者を地域内外にPRするという目的が果たせたものと存じます。今後も、懐かしさあふれる日本の夏を提供できる観光都市として、更にホスピタリティを高めてまいりたいと存じます。今回の花火大会の開催に当たり、ご協力をいただきました関係団体の方々に心からお礼申し上げますとともに、ご協賛いただきましたスポンサー各社及び関係各位に深く感謝申し上げます。第でございます。

今回で九回目を迎えますじゅぐりつと博覧会でございますが、本年は、秋季事業一本に集約する形で、人吉を訪れる観光客の皆様を街中へと誘い、地域の皆様とともに作り上げるおもてなしイベントを中心としまして十月一日から開始いたします。今回は、当初からの目的であった観光客の誘客とおもてなしの向上、そしてにぎわいの創出を再検証する中で事業を選択し、展開をすることとしております。期間中は、街中イベントや歴史的な遺構と灯りを利用したコンサートなど、恒例の事業を充実させながら、一方では新たな試みによる事業なども計画しているところでございます。本市の特性を最大限に生かしたおもてなしイベントを実施、継続していくことで、官民一体となった魅力ある観光地づくりに取り組んでまいりたいと存じます。

土木関係でございますが、現在、社会資本整備総合交付金事業で、幹線道路舗装補修工事を進めておりますが、下林南願成寺線、紺屋町東間線、中青井第一号線につきましては、道路舗装工事と合わせまして、歩道の路面整備も行つてまいりたいと存じます。また、市道改築工事といたしまして、南町地内第一号線外二路線の生活道路につきまして、道路幅

員の拡幅工事を実施してまいります。

そのほか、東間蓑野第一号線外四路線の側溝整備工事及び準用河川蟹作川河川改修工事につきましましては、本年度内の完了に向けて実施してまいりたいと存じます。

学校施設関係でございますが、国の平成二十四年度経済再生対策事業を活用して実施する人吉西小学校、東間小学校、中原小学校のプール改築工事につきましては、八月に着工したところでございます。現在、人吉西小学校大規模改修建築工事も進めているところであり、学校敷地内の工事であることから、工事危険箇所を確認し、児童の学校内生活の安全確保を第一として施工管理に努めてまいります。

学校教育関係でございますが、子どもたちの基礎学力と学習意欲の向上を目的としまして、去る七月二十二日から三十日までの夏休み期間の七日間、市内の小学校三年生を対象とし、「夏休みパワーアップ教室」を開講いたしました。市内六小学校の会場に合わせ二百十二人の児童が受講し、学習サポーターの指導の下、国語と算数の問題に熱心に取り組み学習に励んでおりました。受講した児童からは、「毎日楽しく勉強できた」、保護者からは「夏休み期間の生活のリズムが保てて助かった」などの喜びの声が多数寄せられており、夏休み期間の児童に対する学習支援としまして成果があったものと存じます。ご協力いただきました学習サポーターの皆様に対し、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。次第でございます。今後も、本市の子どもたちの学力向上に係る取組を更に充実してまいりたいと存じます。

来る九月二十一日、文部科学省生涯学習政策局社会教育課長、坪田知広氏を講師にお招きし、人吉市東西コミュニティセンターにおいて「人吉市教育セミナー」を開催いたします。坪田氏には、「新しい時代の教育」と題して、今求められている教育のあり方について、学校教育、社会教育、家庭教育など様々な角度からご講演をいただくこととしております。また、坪田氏ご自身は、多忙な身でありながらPTA活動や子ども会活動に熱心に参加され、育児休業を取得されるなど、日頃から積極的に子どもと関わっておられる実践者でもございます。セミナーでは、ご自身の経験なども交えてお話しいただけるものと存じますので、学校関係者のみならず子育てに悩みを抱えておられる保護者にとりましても、意義深い講演会が開催できるものと期待しているところでございます。

社会教育関係でございますが、去る七月二十五日から三十日までの六日間、福島県南相馬市及び郡山市の小学校五、六年生の二十人の子どもたちを招待して実施いたしました「復興支援こどもキャンプ」事業は、多くの皆様のご協力により終了することができました。期間中、子どもたちは、国宝青井阿蘇神社参拝やラフティング、市房山トレッキング、農業体験など人吉球磨の豊かな自然や文化に触れ、伸び伸びと過ごし、心も体もリフレッシュすることができたものと存じます。また、二十九日には、石野公園内で本市の子どもたち三十人と交流会を実施し、ゲームを始め馬づくりなどの伝承体験、郷土料理による食事を満喫するなど楽しい一日を過ごし、本事業の大きな目的である、本市の子どもたちとの絆を育むこともできたものと存じます。ご協力いただきました、ボランティア及び関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

去る七月十三日、人吉市弓道場遠的場において発生した、アーチェリー練習時の矢紛失事故に係るその後の経過でございますが、八月一日付で「人吉市弓道場遠的場事故防止対策委員会」を設置し、翌二日に第一回目の委員会を開催したところでございます。委員会は、NPO法人人吉市体育協会、人吉市弓道連盟、人吉市アーチェリー協会、地域住民代表で構成しておりまして、今回の事故発生に関し徹底的に検証を行い、今後の事故防止、さらには施設の安全対策について議論をいただき、本年十二月末までに報告書を取りまとめたいと存じます。

文化振興関係でございますが、去る八月二十一日歌舞伎役者中村獅童氏をお招きし、人吉市カルチャーパレス大ホールで自主文化事業「中村獅童と楽しくトーク」を開催いたしました。当日は、本市内外から多くの皆様にご来場いただき、第一線で活躍される中村獅童氏の人気の高さに感嘆した次第でございます。歌舞伎の名門の生まれながらも苦しい下積み時代の話や、テレビやドラマの撮影、共演者の話など、普段ではなかなか伺うことができない世界を垣間見ることができたほか、踊りも披露いただき、日本固有の伝統芸能である歌舞伎の神髄にも触れることができましたと存じます。

また、中村獅童氏には本市のまちづくり親善大使にも就任していただきました。本市の文化振興への協力を始め、各方面にご活躍の場をお持ちの方でございますので、本市のPRにおいてもご尽力いただけるものと期待しているところでございます。

人吉文化協会におかれましては、本年、設立四十周年を迎えられます。これまで人吉地域の文化活動の中心的役割を担い、様々な活動を精力的に展開してこられたことは、ひとえに会員各位の努力と熱意の賜物でございます。心から敬意を表したいと存じます。本年は、十月三十日の前夜祭を皮切りに、十一月二日から四日までの三日間に四十回の節目を祝う人吉文化祭を記念大会として実施されると聞き及んでおります。今後、本市の市民の文化力向上に向けた取組、活動にご期待申し上げる次第でございます。

図書館関係でございますが、去る七月二十一日人吉市カルチャーパレスにおいて、第二十九回人吉球磨児童による童話発表大会を開催いたしました。この大会は、児童の読書意欲の向上を図り、豊かな人間性を育成することを目的とするもので、人吉球磨管内の小学校から二十八人の参加がありました。今回は、命、震災、地域の民話を取り上げた話が多く、登場人物や物語の情景が目には浮かぶような発表に、会場からたくさん拍手が送られていました。最優秀賞に選ばれました二人は、本年十月に開催されます第五十二回熊本県童話発表大会に人吉球磨の代表として出場することになっておりますので、その活躍を大いに期待しているところでございます。

文化財関係でございますが、来る十月四日から十二月八日までの期間、人吉城歴史館において「波瀾万丈！ 相良清兵衛伝」と題した特別展を開催いたします。マニフェストにも掲げておりますが、相良清兵衛は、戦国末期から江戸時代初期における相良家存続の立役者であり、また現代にも残る人吉球磨の多くの寺院や神社の創建、修理、かんがい用水の建設に関わるなど多くの功績がございます。今回、その生涯を未公開資料などでたどり、郷土の偉人の一人として顕彰するものでございます。